

大学と家庭をむすぶ

GROWTH


後援会通信
グロース
vol.41
2022
AUTUMN

特集

世界と つながる 教養

—よくなろうとする祈りと学び—



 東北学院大学

土樋
キャンパス

〔大学院〕文学研究科・経済学研究科・
経営学研究科・法学研究科
〔学部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部(各3・4年)
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1
TEL 022-264-6421(総務課)
FAX 022-264-3030()

多賀城
キャンパス

〔大学院〕工学研究科
〔学部〕工学部
〒985-8537 多賀城市中央1丁目13-1
TEL 022-368-1116(庶務係)
FAX 022-368-7070()

泉
キャンパス

〔大学院〕人間情報学研究科
〔学部〕文学部・経済学部・経営学部・
法学部(各1・2年) / 教養学部
〒981-3193 仙台市泉区天神沢2丁目1-1
TEL 022-375-1121(庶務係)
FAX 022-375-4040()

東北学院大学後援会通信GROWTH(グロース)vol.41

発行日 / 2022年10月
編集 / 東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)
発行 / 東北学院大学後援会
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1 TEL 022-264-6411 FAX 022-264-3030
E-mail kouenkai@mail.tohoku-gakuin.ac.jp URL <https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/kouenkai/>
制作 / Hi creative inc.

GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書第13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙—第3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と共に祝されつつ大きく成長するようという期待が本紙に込められています。

【本紙における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】
本紙に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本紙に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本紙の無断転載はお断りしております。

■本紙に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

 東北学院大学

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/kouenkai/>

世界とつながる

教養

—よくなろうとする祈りと学び—



「いかに生きるか」という問いに応える、教養のちから。

「平成」と改元され、新しい時代への一步を踏み出した1989年。

教養学部は、本学5つめの学部として、泉キャンパスに誕生しました。

学問横断的アプローチによって、豊かな知識と多角的な視点、

しなやかな思考力を養うことを教育目標に掲げ、

これまで9000人を超える卒業生を送り出してきました。

教養学部は来年から新学部へ、そのスピリットを引き継ぎます。

学部長経験者の佐久間政広教授、現学部長の塚本信也両教授に、

改めて「教養とは何か」をお話しいたしましょう。

| フィールドワークで集落に分け入り、歴史や文化に迫る試み。

佐久間: 本日は気持ちの良い秋晴れとなりました。学生たちも休み時間には屋外でお茶を飲んだりおしゃべりに興じたり、思い思いに過ごしていますね。私たちも教養学部について語り合う機会をいただきました。塚本先生、本日はよろしくお願いたします。まず初めに自己紹介に代えて、ご自身の専門分野についてお聞かせください。

塚本: 専門は中国古典学です。シノロジーともいいます。どうしてこの分野を選んだか——別に大層な理由や高邁な理想があったわけではありません。40年近くも前の日本社会はある意味で今以上に「外国語イコール英語」がまかりとおっていたものの、へそまがりの私としては到底その波に乗れない。西方でなければ東方を、そうすると中国語しかなかった(笑)。実際、当時は中国に対する注目度もさほど高くなく、それが1980年代後半には、中国語をいくらか囉っただけで総合商社や大手メーカーから引く手あまたになるのですから、塞翁が馬というか、何とも不思議な感覚を抱きました。

英語はさすがに別格ながら、いわゆる第二外国語科目の履修者数は、政治や世情、流行などを色濃く反映します。日本と中国の間にトラブルが起こると、決まって翌年は中国語の履修希望者が激減しました。皆が学ばぬ今こそ学べ、一時の流行に左右されるな、とへそまがりらしく憤ったものです。現在は、中国語のほか、韓国朝鮮語が人気ですね。その音楽やドラマ、映画などのソフト・パワーが世界を席卷しているという過言ではない。ややもすると遠くばかりを遥かに眺めていたけれど、灯台もと暗し、近くに目を注ぎ、耳を傾ける余裕が生まれてきたのでしょうか。

佐久間: 私は農村社会学が専門で、中山間地域やいわゆる限界集落と言われるような地域に足を運んで住民の方々のお話をうかがってものを考えてきました。教養学部では卒業研究(卒論)が必修です。それもあってゼミ生を連れて、県南部の集落で高齢者からライフヒストリーを聞く、

といったフィールドワークを行ってきました。近隣関係が濃密なコミュニティに入るの、事前に役場などを通じて調査のお願いをするとか、段取りに気を使います。集落を訪問する段になって「挨拶する順番が違う」と怒られたこともありましたが(笑)。それでも若者が訪ねると本当に喜んでくれて、聞き上手な学生は長時間のヒアリングで大きな収穫を得て帰ってきます。

フィールドワークではいろんなことがありました。住人から必要以上に警戒された時があるのですが、少し前に集落の高齢者を狙った悪徳セールスがあったらしいのです。「また来た」と思われたようです。さまざまな情報が素早くめぐりぬるのも農山村の特徴です。それをプライバシーがないと感じる人もいれば、危険を素早く察知できるので安心できると感じる人もいます。外からはうかがい知ることのできない地域の多様な姿を、学生はフィールドワークを通じて感得していると思います。

| 知識だけではなく、豊かな精神性を陶冶する学問・教養。

塚本: フィールドワークによって得られる知は、大学や書物から学ぶそれとまたタイプが異なりますものね。続いて私たちが標榜する「教養(学部)」ということについて考えていきたいと思います。

佐久間: 2010年に学部長を拝命した折に、改めて「教養とは何だろう」と考えました。例えば、テレビのクイズ番組では、非常に高度で潤沢な知識量を誇る人物が登場します。しかし、その人が真に教養のある人物かどうかはわかりません。教養は“知っている量”の多い少ないではないという側面があります。

日本語の教養とは翻訳語であり、英語ではカルチャー(culture、「粗野な状態から耕された、人の手を経たもの」の意)、ドイツ語ではビルドゥング(Bildung、「つくること」の意)です。



佐久間 政広

SAKUMA Masahiro

profile
1986年東北大学大学院文学研究科博士課程後期満期退学。専門は農村社会学。東北大学文学部助手を経て、1988年東北学院大学講師、1993年助教授、2004年教授。2005年地域構想学科長、2010年から2015年まで第5代教養学部長。

西洋史学者の阿部謹也(1935年-2006年、代表作に『ハーメルンの笛吹き男』、サントリ-学芸賞、大佛次郎賞など受賞)は、『「教養」とは何か』(講談社現代新書、1997年)の中で、「教養とは生きる術である」と言っています。その言葉が意味するところを、少し考えてみたいと思います。

中世ヨーロッパの都市では商工業者の同業者組合が発達しました。当時の職人や商人はそれぞれの組合に属し、生きるために必要な知識や技能、振る舞い方を徒弟関係の中で学び、同じ組合の仲間から援助を受ける一方、組合の規律に従い、課せられた義務を果たすことで「一人前」として認められました。同書ではこうした職人たちの社会への関わり方、態度、知識や作法を、当時の職人の教養と呼んでいます。この教養は、身分制社会のなか一人一人が所属する集団から与えられました。

ところが身分制度が廃された近代社会になると、事情は大きく変わります。人々は建前では、自分の生き方を自分で選ぶことが可能になります。どう生きるかを自分で考えねばならなくなったことにより、生きる術としての教養も自分で築き上げるものへと変化します。教養はBildung(つくること)になりました。「いかに生きるか」という問いとともに、近代の教養が始まったのです。



塚本: 翻訳語であることもあって、「教養」という言葉は本当に多種多様な意味やニュアンスを担っていると感じます。

話は少し変わりますが、大学教員は、教育また研究するだけでなく、学内自治や大学運営に関する業務も負っています。かつて私も入試委員として、東北各地の高校を訪問したり、入試相談会で説明役を担当しましたが、20数年前だと「教養学部」という言葉や理念が必ずしも普及浸透していたとは言えず、高校の先生方とあまりに話が噛み合わないで、どうしたものかと冷汗をかいていたら、先方は「教育学部」と思い込んでいたという、笑いに笑えない経験があります。もっとも、正直なところ、教養学がディシプリン(学問分野)かと問われたら、返答に窮しないでもありません。例えば、医学部でしたら、学問分野として確たる体系が確立しています。医師を養成するというアイデンティティが明確で、こういってよければ入口から出口までがわかりやすく、見晴らしがよい。しかし、教養学部の描く地図は少し違っています。専門性はもちろん大切ですが、開放的というのか、むしろ積極的にその枠を超え、様々な視点から柔軟な思考や方法をもって何かしらの対象を広く深く考察する、その姿勢を尊重します。教養(学部)について、

| 柔軟な思考と寛容さにつながる、複層的な視点。

ややもすると「専門 vs. 教養」という二項対立的な捉えられ方をしたり、専門分野に進む前の下請けにすぎないといった上下の二重ないし二層構造をイメージされがちですが、これは誤解です。

クリスチャンでもあった作家の倉田百三(1981年-1943年)が、教養を「善くなろうとする祈り」と評していたことを思い出しました。先ほどの佐久間先生の、それは単なる知識(量)ではないという発言とも通底しているように思います。また、イギリスの思想家J・S・ミル(1806年-1873年)がいったとされる「すべてについての何か、何かについてのすべてを知ろうとする(try to know something about everything and everything about something)」こと、この箴言も、教養は知識の多寡以上に世界や社会に対する姿勢が、理解しようとするプライドこそが問われている、そう解釈してよいのかもしれない。

佐久間: 今、塚本先生のお話を聞いていて、思い出したエピソードがあります。教養学部では、いろいろな学問分野・領域の講師によるオムニバスの授業を毎年実施してきました。学部開設の間もないころの授業で世界的に知られる生物学者であるK先生が話された内容が印象に残っています。

K先生は、白衣を着て実験装置に囲まると「遺伝子操作により新しい生物を作りたい」「欧米のライバルより早く成功したい」と研究に熱中しました。しかし白衣を脱ぎ自宅に帰ると、「生命の操作をすることは許されるのか」「人類が対処できない微生物が生まれるかもしれない」と不安に襲われました。

学問研究の専門家は、その学問の目的を疑うことはありません。生命の謎の解明を目的とする生物学の世界で、研究者が「生命の



研究に意味はあるのか」と疑問を抱いたら研究はできません。目的とそれを達成する手段を区別して言えば、専門家は手段だけに関わり、専門家である限り目的を追求します。そうであるがゆえに、専門家の立場からいったん離れ、異なる視点からその専門の営みを眺めることが重要になります。

K先生は、ライバルたちも自分と同じ不安にとらわれていたことを国際学会で知り、遺伝子操作研究に一定の歯止めをかけるために議論を一緒に開始しました。先に触れた阿部謹也によれば、「教養がある」とは「自分が社会の中でどのような位置にあり、社会のために何ができるのかを知っている状態」です。現代社会において生物学の専門家として活躍するK先生たちは、いったん生物学者とは異なる視点から眺めることで、自分たちの営みを抑制することなしに社会に貢献することはできないと考えたのです。かれらは単なる専門家にとどまらなかった。現代社会における教養の一つのあり方を示していると思います。

塚本: 専門分野が細分化・先鋭化を続ける今、一事を究めるとともに、広く物事を見渡す姿勢もいやまじに欠かせなくなります。

教養学部では、大学の知を広く共有する試みとして『大人の教養倶楽部』と題した公開講座を開いています。毎年1つのテーマに

ついて、専門を異にする4学科の教員たちが各々「ものごとを多種多様な視点から複層的に捉える」ことの面白さ、つまりかけるメガネによって世界が違って見えること、学問的好奇心の多様性と重要性をお伝えしています。有名な例ですけれど、海が複数の地域を隔てているという考え方もあれば、海があればこそ複数の地域がつながっているという捉え方もあるわけですね。



塚本 信也

TSUKAMOTO Shinya

profile
1995年東北大学大学院文学研究科博士課程後期満期退学。専門は中国古典文学。東北学院大学教養学部助手を経て、2014年教授。2018年言語文化学科長、2022年から第7代教養学部長。

異なるものとの間を架橋する行動と努力こそが、教養。

佐久間:塚本先生は、中国語の授業を担当しておられますね。

塚本:外国語学習は、母語の新陳代謝をイメージしています。先の二重構造という見立てに倣うならば、母語はOS(オペレーティング・システム)、外国語はソフトウェアで、学習者というPCがカリカリと音を立てている状態でしょうか。但し、OSもソフトも絶えずバージョンアップしており、またバージョンアップさせねばならぬので、メンテナンスの面倒が筆舌に尽くしがたい(笑)。

他方、昨今の日本でも珍しくなくなってきましたが、複数の母語を抱えるゆえ、アイデンティティに苦しむ人がいます。授業中は当てないでください、バイリンガルなどと誉めそやさないください、と。語学の目標と教養のあり方がバッティングしており、私たちはここをどうにかして乗り越えねばなりません。

外国語学習はコストが悪いのでやらない、母語のみで十分だとうそぶく学生もい

ます。では、日本語人どうしならば“全きコミュニケーション”が成立するかといえ、もちろんそんなことはありません。親子げんかも兄弟げんかも、似た言語環境下に育ったから、かえって骨肉の争いが生じるわけでしょう。今更ながら、言葉は単なる道具ではないのです。「押すなよ、絶対に押すなよ」——意味と意図がズレる/ズラす典型として有名になったセリフからは、お互いが分かり合うために何度も確認していることがわかります。迂遠なようですが、世界には自分と異なる存在がいる、あるいは自分さえ複数の存在であると知ること、それが教養の構えであり、目標なのです。

幸い、日本にあっては明治この方、悪戦苦闘して“日本語”が普及定着しています。しかし、世界にはさまざまな理由で母語の使用を制限また禁止されたり、バイリンガルやトリリンガルであることを歴史的また社会的に強られる地域がある。外国語を学ぶ時はもちろん、日本語を学ぶ時でも、どうかその背景に思いをはせてください。

佐久間:今のお話を聞いていると、改めて、教養を身につけるとは知識だけではなく、豊かな人間性を陶冶する営みであることがわかります。

私は学部長時代、地区後援会(北海道から東京都までの全28地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況報告や業務説明、個別面談を行う催し)で東北各地を回りましたが、現役学生の保護者が教養学部を含む本学のOB/OGというケースが少なからずあり、期せずして卒業生の活躍の姿を見ることができました。社会や地域の中で、先導的あるいは中核的な役割を果たしておられ、とても誇らしく、また頼もしく思いました。

みなさん、共通して口にされるのが、学生時代は教室の中だけではなく、部・サークル活動やアルバイト先で多くの貴重な体験を積んだということ。キャンパス内外で、一人前の大人に必要な事柄を学んだということであり、こうした本学での経験は学業によって養われる知識と同様に、豊かな人生を支えてくれる糧であろうと思います。

風抜ける美しき学び舎「泉キャンパス」今昔

泉キャンパス建設前



泉キャンパス完成後



東北学院がのちに泉キャンパスを展開することになる敷地を取得したのは1965(昭和40)年のこと。現在の仙台市泉区が「泉町」だった時代のことで、東京ドーム約7.4個分の校地には、大学泉寄宿舎、榴ヶ岡高等学校、総合運動場と順次整備が進められ、1988(昭和63)年3月にはキャンパスの核となる講義棟・研究棟などが完成しました。文系学部1・2年生と教養学部生の新しい学び舎となる泉キャンパスの建設は、創立百周年事業の一環として進められたもので、折しも前年には仙台市地下鉄南北線・富沢駅-八乙女駅間が開業し、交通の便も大きく向上。成長と発展著しい泉地区に誕生したキャンパスとして地域活性化への大きな期待を集めました。施設の中で特に注目されたのが、礼拝堂に設置されたものとしては日本屈指の規模を誇ったパイプオルガンです。荘厳な祈りの旋律を奏でてきたオルガンは、来年春以降、五橋キャンパス押川記念館(ホール棟)に移設される予定です。

校地面積: 346,000.00㎡
敷地面積: 272,011.47㎡
建築面積: 19,668.65㎡
延床面積: 65,880.83㎡
工期着工: 昭和61年10月1日
竣工: 昭和62年12月15日
※数字は竣工当時のもの



ワン・キャンパスで、新しい“世界”と出会ってほしい。

塚本:おっしゃる通りです。私も地区後援会に赴きますが、お越しいただいた保護者の方から「近親に教養学部出身がいますよ」と言っていただくことが多く、卒業生9000人の広く強いネットワークに驚かずにいられます。卒業生の方からは4年間がいかに楽しかったかを伺うことが多いですね。こちらもうれしく、また鼻が高くなります。口幅ったいのですけど、教育というのはなかなかすぐに答えが出ません。中国に「助長拔苗」、長を助けて苗を抜く」という成語があります。苗の生長を助けようと無理に引っ張るあまり根を抜いてしまったという内容で、身につまされずにはられません。4年かけてタネをまいたのか、苗にまで育てたのか、我々自身さえ判断のつきかねるところはありますが、その答えを確認するために地区後援会を、ホームカミングデーを指折り数えて待ちたいと思います。

佐久間:34年の歴史を持つ教養学部の理念と方針は、2023年度から新しく設置さ

れる学部へと継承されます。現在、在籍されている学生たちへの授業・ゼミ等は、少しも変わらず継続されます。教育の機会と質を維持し、私たちも力を入れて指導しますので、保護者の方にはどうぞご安心いただければと思います。

また本学では、広く教養を涵養するカリキュラムとして「TGベーシック」を展開しています。キリスト教を基にした「人間的基礎」科目に加えて、科学的思考、統計的思考、メディア・リテラシー、読解・作文の技法など、社会人としての一般常識、生活者としての知識を身につけることを目指しています。たとえば、多くの学生たちはアルバイトをしていると思いますが、被雇用者として労働基準法を知っておくことは、とても大事です。それについてもこの科目で扱います。まさに「よくならうとする学び」です。

塚本:実際、「TGベーシック」は至れり尽くせりと申しましょうか、かゆいところに手が届くように編まれていると感じます。こ

こ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、海外留学・交流が難しくなりましたが、最近になり、感染防止対策に万全を期するという前提の下、海外での学びや研究支援が再開しています。「教養」は“liberal arts”の翻訳語でもありました。リベラルには「惜しみなく与える、気前のよい」という意味もありましたね。善くならうとする祈りを世界と共有するためには、自分にも他者にもたっぷりの尊厳をもって対していただくことが不可欠だと信じています。

佐久間:2023年春からは、泉キャンパスと多賀城キャンパスが、「五橋新キャンパス」に集約され、東北学院の新しい歴史が始まります。新しい学び舎、新たな学び、たくさんの個性や才能…学生たちには、ワン・キャンパスに広がるいろいろな“世界”に出会ってほしいと心から願っています。塚本先生、今日は興味深いお話をありがとうございました。

後援会総会・ 大学開放プログラム

2022年5月21日(土)

土樋キャンパスにおいて、
感染症対策を講じた上、
約370名の保護者をお迎えし、
「2022年度東北学院大学後援会総会」と
「大学開放プログラム」を開催しました。



ラーハウザー記念東北学院礼拝堂で行われた後援会総会では、鎌田宏後援会会長が議長を務め、2021年度の後援会収支決算及び会計監査報告、2022年度後援会予算案や事業計画などを説明し、お集まりいただいた多数の保護者にご承認いただくことができました。

大学開放プログラムでは、礼拝堂でのパイプオルガンコンサートや聖歌隊による合唱、大学礼拝、東北学院史資料センターやラーニング・commonsなどを自由に見学できる施設開放、博物館などを巡るキャンパスツアーも行われました。

教養セミナー(右ページ参照)終了後は、ホーイ記念館で1・2年生対象と3・4年生対象に分けた学生の就職を考えるセミナーが実施され、最新の就職事情や保護者のサポートなどについての説明を行いました。



後援会総会

議事報告

(1)2021年度後援会庶務報告について

白木進庶務担当理事より、役員人事、2021年度役員会、2021年度後援会総会(書面議決)、2021年度地区後援会のオンライン開催について報告があり、原案通り承認されました。

(2)2021年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告について

浅野ひとみ会計担当理事より報告があり、原案通り承認されました。
長谷昌武監事より、帳簿等が正確に整備されていることについて監査報告がなされました。

(3)東北学院大学後援会会長の選任

鎌田宏会長が推挙され、満場一致で再任が承認されました。

(4)2022年度後援会事業計画(案)について

白木進庶務担当理事より、2022年度後援会総会、2022年度地区後援会について説明があり、原案通り承認されました。

(5)2022年度後援会収支予算(案)について

浅野ひとみ会計担当理事より説明があり、原案通り承認されました。

(6)東北学院大学後援会規約の改正

来年度は2023年5月下旬または6月に開催の予定です。案内状は4月下旬に発送予定です。



キャンパス見学ツアー

今回は完全予約制の2部構成。観覧順も図書館と博物館を入れ替え制にすることで、密を回避いたしました。



「さいち」のおはぎと
土樋パン製作所×
料理研究会コラボ弁当が
配布されました

昼食には、週末に長蛇の列となる「秋保おはぎ」、土樋パン製作所と東北学院大学料理研究会とのコラボによる「土樋パン3種よくばりセット」をご用意。お好きな方をお選びいただきました。



大学開放プログラムに参加して

- 荘厳な礼拝堂に響き渡るパイプオルガンの音に感動しました。
- 一般には見学できない場所をツアーで見ることができてよかったです。参加できる人数は今後もっと増やして欲しいです。
- 教養セミナーでは、目標をもつ大切さ、達成するまでの苦労などを伺うことができました。子供のためにも親のためにもなるセミナーでした。
- 就職活動を控えている子の親として、どのような心構えをすべきかが分かりました。



保護者と学生のための 教養セミナー

俳優の渡辺徹氏をお招きし、「夢の実現に向けて」と題したセミナーが礼拝堂において行われました。役者の道に進むきっかけや人気番組に出演した際の裏話などを、笑いを誘う軽快な語り口で披露しました。

「子どもには、言葉で伝えるよりも親が何をやるかの姿を見せることが大事」「尊敬する人の話をよく聞くことが夢に近づく一歩になる」など夢を叶える鍵となるお話があり貴重な講演となりました。



PRESENT

渡辺徹氏サイン色紙 3名さま

詳しくはP18へ

その他様々な催しがありました。



パイプオルガン
コンサート&
聖歌隊による合唱



学科別懇談会



学生の就職を
考えるセミナー



後援会総会当日の様子はこちらから
<https://youtu.be/ROkIOcYGiMo>



東北学院大学 地区後援会

2022年7月16日(土)～9月11日(日)

全国28地区で地区後援会を開催し、
本学教職員による東北学院大学の
近況報告や個別面談、自治体等による
地元就職セミナーなどが
行われました。



徹底した感染症対策のもと、 3年ぶりとなる対面での地区後援会を 開催することができました。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、この2年間、対面での開催を中止していた「東北学院大学地区後援会」を北海道から東京まで全28地区で開催しました。それぞれの会場では徹底した感染症対策を実施し、本学教職員から竣工間近な新キャンパスの近況などをお知らせしたほか、学務部、学生部、就職キャリア支援部からそれぞれの取り組みを紹介しました。また、成績や就職活動、学生生活に関する様々な疑問や相談にお答えするため、ご希望の保護者様には個別面談を実施しました。



3部からの説明

コロナ禍のもと、学生はもちろん保護者の皆さまも、学業や学生生活、就職活動などについて様々な不安を抱えています。地区後援会では、学務部、学生部、就職キャリア支援部の職員が活動内容を紹介し、ご家庭で活用いただきたい情報などをお伝えしました。

学務部

学びの成果や現状を
保護者の皆さまと共有し、
東北学院大学での4年間を
実り豊かなものに。

学務部では、保護者の皆さまに対し、半期ごとに「履修成績通知書(成績表)」をお届けしています。ご家庭では、「必要単位」と「修得単位」の比較、「///(履修放棄)」の表記等を通して、学業面での成果を共有いただければと思います。なお、成績表の郵送は今年度をもって終了しますので、2023年度以降はWEB閲覧サービスからご確認ください。

詳しくは
Web閲覧サービス
(在学生の保護者様限定)

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/student/data/guardians/webmanual.pdf>



学生部

安全・安心な学生生活のため、
奨学金や課外活動など、
多岐にわたる
相談・サポート業務を担当。

奨学金については、日本学生支援機構による貸与・給付奨学金のほか、本学独自の給付奨学金を設け、経済面での支援を実施しています。学生総合保健支援センターでは、障がいのある学生の支援のほか、人間関係や勉学上の悩みなどに向き合う学生相談室を設け、ご家族からの相談にも応じています。また、様々なハラスメント問題に対応するため、専用の相談電話やメールアドレスも用意しています。

就職キャリア支援部

学年ごとに就職支援を実施。
就職活動の主役は学生本人。
保護者には「サポーター」という
立ち位置からの支援を期待。

2021年度本学卒業生の就職率は95.4%で、コロナ禍以前の水準までは回復しなかったものの、前年度に比べ微増となりました。受ける企業を厳選し過ぎず、活動量を増やすことが内定獲得のカギと言えます。保護者の価値観や言葉は、学生たちの意思決定に大きな影響を及ぼします。「無関心」でも「過保護」でもなく、「サポーター」として学生本人を支えていただくようお願いします。

主なプログラム

- **大学からの挨拶**
本学の教育方針・近況の報告など
- **3部からの説明**
・学務部…「進級・卒業」「単位取得」「科目登録」など
・学生部…「奨学金」「課外活動」「アルバイト」など
・就職キャリア支援部…「就職活動」「キャリア形成」など
- **自治体等による地元就職セミナー**
- **昼食会**
- **大学紹介(動画上映)**
- **個別面談(希望者のみ)**
さまざまな内容に対する相談を個別に行いました。

皆さまの声

個別面談では丁寧に話を聞いてもらいました

子どもも参加して、就職について具体的に一緒に考える良い機会となりました

遠方のため、対面で相談できる機会は大変ありがたかったです

学生生活のサポートや奨学金制度が充実していることが分かり安心しました

動画では五橋キャンパスについての紹介もあり大変参考になりました

内容を子どもにも共有してあげたいです

大学紹介動画をWEBで公開中

動画をまだご覧になっていない方はこちらから
(保護者限定公開)

<https://youtu.be/D5oeyR67sXY>

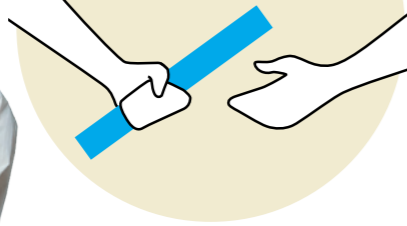




現在は剣道3段。
これからも、
さらに上をめざしたい！



Student's Relay interview



まなぶ
ただっ

国外での避難民支援を経験。
子どもたちの未来を奪う
戦争の残酷さを実感しました。



name: 尾野 菜加加 さん
class: 教養学部 人間科学科
grade: 4

STUDENT'S VOICE
幅広い分野の学びが可能な人間科学科で、体育学を中心に勉強。「剣道における発声が与える影響」というテーマで卒業研究にも取り組んでいます。

母の影響で小学1年から剣道を始めました。出身高校はインターハイでも上位に進出する剣道の強豪校の一つで、残念ながら最後の大会は補欠となってしまい、悔しい思いをしました。有力選手の多くが関東圏の大学に進学を決めるなか、私が考えたのは、「選手として多くの大会に出場したい」ということ。そこで選んだのが東北学院大学でした。剣道部入部後は、1年次から団体戦のメンバーに選ばれ、東北女子学生剣道優勝大会や全日本基督教関係大学剣道大会、全日本女子学生剣道優勝大会に出場、2019年には男女ともに全日本のベスト16に入るという剣道部史上初の栄誉を得ることができました。コロナ感染症防止のため、思うように練習のできない時期も長く続きましたが、充実した剣道ライフを送ることができました。

私のイチオシ
NIKEのスニーカー
剣道部の同期の仲間3人からもらった誕生日プレゼントです。パール付きの限定タイプ、どんな服装にも合わせやすく、とても気に入っています。



name: 後藤 一磨 さん
class: 文学部 英文学科
grade: 3

STUDENT'S VOICE
英語力のさらなる向上を図り、東京の大学院に進学するのが現在の目標。これまでの経験も踏まえつつ、国際協力についてさらに深く学びたいです。

国際協力という仕事に元々興味があったことから、今年、日本財団ボランティアセンターが派遣する学生ボランティアの一人として、ポーランドに逃れてきたウクライナの避難民を支援する国外活動に参加しました。ロシアの軍事侵攻、それに伴う大勢の避難民という現実を前に、「日本国内からできることは寄付などに限られてしまう。現地に行かなければできないことがきっとある」という強い思いが、その時の私にはありました。派遣期間は5月末から6月中旬、主な仕事は施設内の清掃や食料配布の手伝いなどでしたが、子どもたちの心のケアの一環として、一緒にお絵描きやゲームも楽しみました。現地で親しくなった17歳のウクライナ人女性とは今もSNSで交流しています。

私のイチオシ
絵とプレスレット
ウクライナの子どもたちと一緒に描いた絵。現地で知り合った女の子から贈られたプレスレットは、いつも大切に身に着けています。



はばたく・かがやく
OB・OG訪問

窪田 陽香 さん
アイリスオーヤマ株式会社
秘書部

2019年3月教養学部地域構想学科卒業。在学中は、ソフトテニスサークルで活動、2・3年次には、新入生を迎えるオリエンテーション・リーダーとしても活躍した。地域構想学科では、スポーツマネジメントについて深く学ぶため、天野和彦准教授の研究室に所属。卒業論文では、「運動部活動におけるリーダーシップに関する研究—高等学校軟式庭球部の顧問教諭に注目して—」と題して、仙台市内の高校で生徒の満足度調査などにも取り組んだ。2019年4月、アイリスオーヤマ株式会社に入社。入社以来、秘書部に所属している。



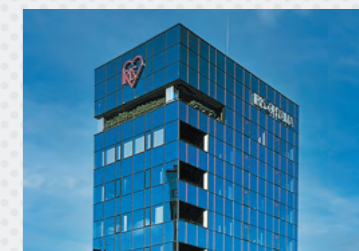
「諦めない粘り強さを
自身の強みとして」

スムーズで無理のない移動への配慮はもちろん、行程の組み直しにも、機敏にそして的確に対応。

生活者視点に立った一貫したものづくりに共感し、アイリスオーヤマ株式会社を就職先を選んだ窪田陽香さん。現在は役員秘書として、出張の際の交通手段や宿泊先の手配、取引先に対する慶弔対応など、役員が業務を円滑に進められるようにサポート業務を主に担当しているという。「スムーズで無理のない移動をしていただけるように配慮していますが、気象条件の急変などで行程の組み直しを求められることもあり、気を抜くことのできない、そして経験の積み重ねがものをいう仕事でもあります。慶弔への対応も含め、『先んじて動く』ことが私たち秘書の務めだと考えています」。

窪田さんが就職活動の際に自身の強みとしてアピールしたのは、「諦めない粘り強さ」。それは、高校時代の軟式庭球部の活動の中で培われたものだという。「高校からテニスを始めたため、技術面で経験者とは大きな差がありました。それでも、諦めることなく部活を続けることができたことは、私にとって大きな自信となっています」。

役員秘書ということもあり、お会いする取引先の方も目上の方が多いという窪田さん。「社会や経済の動きにも常に目を配りつつ、秘書としての経験値を高め、自分自身をさらに成長させていきたいと思っています」。



アイリスオーヤマ株式会社
■ 創立 1971年4月
■ 代表取締役社長 大山晃弘
■ 所在地(本社)
〒980-8510 宮城県仙台市青葉区五橋2-12-1

「アイラブアイデア」をキーワードに、暮らしをより豊かで快適にするものづくりを追求している。プラスチック成形に始まった事業は、現在は家電やヘルスケアなどのBtoC事業のほか、ロボティクス事業やエアソリューション事業のBtoB事業など多岐に亘り、2021年度のグループ売上は8,100億円を達成した。

考える力、書く力をより確かなものに。

ラーニング・コモンズ「コラトリエ」 による学びの支援

教養教育を大切に東北学院大学では、
基盤となる科目群「TGベーシック」を設けるとともに、
よりよい学びに向けた支援体制も整えています。



社会で必要とされる力を培う教養教育 「TGベーシック」

教養教育に重きを置く本学で学んだ“証”として、TGベーシックはすべての学生が身に付けておくべき知識と技術です。キリスト教に対する理解と豊かな人間性を育む「人間的基礎」科目群、大学での学びの中で必要とされる知性を磨く「知的基礎」科目群に加え、2023年度からは新たに「課題探究」科目群の導入を予定しています。課題発見能力や問題解決能力などの基礎、社会で必要とされる力がさらに培われることが期待されます。

TGベーシック

- | | |
|--|--|
| 「人間的基礎」科目群 | 「知的基礎」科目群 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 聖書を学ぶ ● キリスト教の歴史と思想 ● 市民社会を生きる ● 地球社会を生きる ● 科学技術社会を生きる 他 | <ul style="list-style-type: none"> ● クリティカル・シンキング ● 数理的思考の基礎 ● メディア・リテラシー ● 読解・作文の技法 ● 研究・発表の技法 他 |
- ※2023年度からは「課題探究」科目群が加わります。

アカデミックスキルを中心に、学生の学びを支援 ラーニング・コモンズ「コラトリエ」

ホーイ記念館(土樋キャンパス)の1・2階にあるラーニング・コモンズ「コラトリエ」は、協同的な学びによる仲間との交流を通じて、さまざまな価値観や学びの共有を実現する知的空間です。コラトリエには、ラーニングサポートエリアが設けられ、アカデミックスキルに関するセミナーや個別相談を実施しています。今回は、コラトリエで学生の学びの支援にあたる2名の教員に、支援の内容について聞きました。



INTERVIEW

—どのような学びの支援を行っているのですか？

本学の学生は、「TGベーシック」の科目である「読解・作文の技法」や「研究・発表の技法」を通して、レポートライティングやプレゼンテーションの方法といったアカデミックスキルを低学年のうちから学んでいきます。とはいえ、そうした学びだけでアカデミックスキルが十分に身に付くとは限らず、学年が上がるにつれて増えてくるレポート提出やゼミ発表といった場面で、足踏みしてしまうという学生も少なからずいます。コラトリエでは、そうした学生の悩みに「個別相談」という形で対応したり、アカデミックスキルについて学び直す各種「セミナー」を開催しています。また多くの学生が必要とする情報をコンパクトにまとめた「レポートの書き方のコツ」といった教材を作成し提供しています。

—学生からの相談はどのようなことが多いですか？

コラトリエのある土樋キャンパスは文系学部3・4年生が主に学んでいます。その関係もあって、専門科目のレポートや卒業論文の書き方、発表用のプレゼン資料の作り方といった相談を多く受けます。また、最近の学生は授業や課外活動、アルバイト等でとても忙しく、タイムマネジメントについて相談を受けることもあります。

ます。コロナ禍のもとでは、オンラインによる遠隔授業の受け方についても、学生の相談ニーズは高かったです。

—支援の際に意識していることはありますか？

相談にやってくる学生はさまざまです。レポートを書き上げた後、これでいいか確認してほしいという学生もいれば、どう書けばいいのかスタートからつまづいてしまっているという学生もいます。一度の相談で済む場合もあれば、継続的なサポートが必要な場合もあります。いずれにしても、私たちからの問いかけを通して、自分で考え、問題点に気づき、修正できるようになることを目指しています。

—2023年度には五橋キャンパスが誕生しますが？

五橋キャンパスにもラーニング・コモンズが設けられ、学びの支援を行うコラトリエの機能も合わせ持つ予定です。五橋キャンパスには理系も含む全学部の学生が集まることになるだけに、学びの支援に対するニーズも多様化すると思います。そうした学生のニーズにも対応しながら、学生の学びをサポートしていきたいと考えています。

MESSAGE



遠海 友紀 特任助教

相談を受ける際には、学生が「自分で考える」ということを大切にしています。問いかけに答えながら、こうすればいい、こうすればより良くなるという解を、自分自身で見いだせるようサポートしています。



嶋田 みのり 特任助教

レポートは、1人で取り組んでいると煮詰まってくることもあります。人と話すことで、新しいアイデアが生まれ、自分では気づかなかった問題に気づくことができます。ぜひ気軽に相談に来てください。

※1: TGベーシック <https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/characteristics/tgbasic.html>
※2: ラーニング・コモンズ「コラトリエ」 <https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/colatier/support>



TGベーシック



コラトリエ



書を通して互いを高め合っていくことを目標に。

書道研究部の部員数は現在約40名。来春に控えた五橋キャンパス誕生を前に、今年度からは多賀城キャンパスの工学部生の入部も可能になったという。部員の7割程度は書道未経験者。「新歓行事や大学祭などで披露する書道パフォーマンスに惹かれ、入部してくる部員も多い」と話すのは、書道研究部で幹事を務める高井倅邑さんだ。書道パフォーマンスは、楽曲のリズムやメロディーに乗せ、畳6帖半もの大きさの紙に部員数名で書画を表していくというもの。袴姿の部員たちが、リズムカルに、そして力強く作品を完成させていく数分間は、気合いと迫りに満ちたステージとなる。コロナ禍で実現はしなかったものの、パフォーマンス動画を見た大規模商業施設から、「私たちの商業施設でパフォーマンスを披露してほしい」という依頼を受けたこともあったと高井さんは話す。

定例の練習日は木・金の週2回で、書道の練習はもちろん、書道展や部独自の作品展に向けた作品づくりに取り組んでいる。そして、書道研究部という名の通り、活動のもう一つの柱としているのが「書の研究」だ。書には楷書や行書、草書、隷書などいくつかの書体があるが、それぞれの書体について字典やテキストなどで個々に研究を進めるとともに、時には外部の書道家を講師として招き、ともに学ぶ機会も設けているという。「部員の中には全国的な書道展で受賞する学生もいます。経験も技量も異なる学生たちが、書の研究を通して互いを高め合っていくことができる、そんな部でありたいです」。

STUDENT'S VOICE



幹事
高井 倅邑さん
法学部法律学科 3年
小さい頃から絵を描いてきました。書道は大学入学後に始めましたが、空間と文字の関係は、アート感覚としてもとても美しいと思います。



キャンパスニュース

五橋キャンパス誕生

仙台市中心部に完成するアーバン(都市型)キャンパス

2023年4月、「多賀城キャンパス」と「泉キャンパス」を都市部に集約し、新しい拠点「五橋キャンパス」がスタートします。東北学院大学の象徴である「土樋キャンパス」と、新しい時代に対応する「五橋キャンパス」が一体となり、新たな教育・研究の場へ進化します。

ワンキャンパスに多彩な学部・学科が集まり、「文理融合」を実現します。キャンパスの構造としても、交流の促進を目的に建物を回遊できる2階の渡り廊下「TGUリング」を設置しました。それぞれの分野を超えたコミュニケーションの機会を作り出すことで、多様に变化する時代と世界を生き抜くための視野の獲得を支援します。また、地域と共創する大学として、地域と学生との交流を通し、相互の活性化を目指します。



五橋キャンパス完成ご挨拶

五橋キャンパスの完成により、土樋・五橋地区「都心型ワンキャンパス」が実現し、東北学院大学の教育研究は大きく変わります。文理融合の象徴である数理・AI・データサイエンス教育に力を入れます。また新キャンパスの利点を生かして、地域と共創する大学を掲げます。「未来の扉センター」を開設し、地域の企業や自治体との間の産学連携やインターシップ、NPO、福祉施設、商店街との間のボランティア活動を進め、社会貢献を目指します。

現在大きく変化している時代の要請や地域の課題に応えるために、4学部5学科を開設します。「地域総合学部(地域コミュニティ学科・政策デザイン学科)」、「情報学部(データサイエンス学科)」、「人間科学部(心理行動科学科)」、「国際学部(国際教養学科)」(いずれも8月下旬に設置届出が受理)です。

聖書に「新しい酒は新しい革袋に盛れ」(マタイによる福音書9章17節)という言葉がありますが、新しい東北学院大学の教育研究にご注目ください。



学校法人東北学院院長
東北学院大学学長

大西 晴樹

学務部より **対面授業と遠隔授業** 学務部長 加藤 健二

2019年度末から始まった新型コロナウイルス感染症への対策はいまだに継続されて、今年度前期は履修者100名以下の授業(およびキリスト教関連授業)は対面授業、101名以上の授業は遠隔授業として実施しました。

本学をはじめ「通学制」大学は、「通信制」とは異なり、大学に通学し、対面で授業を受けることを前提として成り立っています。そうした中で、本来遠隔授業は「高度にメディアを活用した授業」として大学設置基準等で規定されており、それを実施するには、大学として責任をもって規程整備・環境整備・運用することが必要です。ところが、多くの大学では2020年以前にそうした準備はなされておらず、ここ3年実施されてきた遠隔授業は、文部科学省がコロナ対応として特例として認めていたものだったのです。

最近、コロナ感染状況は、オミクロン株への移行、感染者数

(爆発的拡大とその後の)激減と大きく変化し、国の対応も行動抑制から見直しへと変わりました。文部科学省もこれまで以上に対面授業の実施を要請しており、現在、首都圏の多くの大学ではほとんどの授業で通常の対面授業を実施しております。本学も、現在、履修者300名以下の授業では原則対面授業を実施しています。感染防止には万全の対策を講じながら、学生同士、そして学生と教職員が直に対面で交流するなかで、すべての学生がより充実した大学生生活を謳歌できるようになることと思います。

なお来年4月からの新体制の中では、「メディア活用授業」を一部の科目に計画的に取り入れる予定ですが、何よりも、制約のない対面授業が実施され、自由闊達な課外活動が展開されるものと期待しております。

就職キャリア支援部より **今、学生のためにできること** 就職キャリア支援部長 武田 三弘

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況が続く中でも、学生の就職活動は行われております。我々は、コロナ禍においても学生が就職活動を焦らず落ち着いてしっかり取り組めるよう、低学年に対しては「仕事とは何か」をテーマとしたワークカフェ、OB・OG座談会、2、3年次にはTGインターンシップを実施しています。この他、学年毎に多くの就職ガイダンスを対面とオンラインを併用して実施しており、就職活動に向けた準備として「社会人基礎力」を身に付ける工夫しております。さらに、公務員を目指す学生に対して公務員対策講座、アナウンサーを目指す学生に対して、受講料の一部を大学が負担することで個人負担を軽減して実施しているアナウンサー講座、大手人気企業や優良企業を目指す学生に対してトップガン講座、自身のキャリアや就職に対して早い段階から考え準備をしたいという学生に対してキャリアデザイン講座など、様々な講座を開講しております。また、「仕事研究セミナー」を早期化

する採用選考を考慮して3年生の12月から順次実施しており、興味のある業界や企業人事担当者から早期に情報収集を行えるような取り組みを行っています。さらには、保護者の皆様にも、我々の支援内容や現状の就職状況、保護者の皆様の就活に関する疑問や悩みなどの情報交換ができる場として、例年11月以降に開催している「保護者のための就職懇談会」を、今年度は対面での実施で予定しております。感染拡大状況によってはオンライン開催になるかもしれませんが、学科の教員や就職担当者と直接話せる機会ですので、是非ご参加いただければと思います。

新型コロナウイルス感染症により、活動が制限される中でも、我々は就職を希望する学生全員が充実した就職活動を行い、納得した企業に就職できるよう、これからも一人ひとりに寄り添いながら全力でサポートしていきますので、ご活用のご程、宜しくお願致します。

学生部より **学生部のトピックス** 学生部長 千葉 智則

1. 総合定期戦、3年ぶりの開催

第73回対青山学院大学、第68回対北海学園大学総合定期戦が3年ぶりに開催されました。

対青山学院大学戦(5/28、29 於:東京・神奈川)は、コロナ感染対策のため通常3日間の日程を2日間に短縮し、競技数も縮小されましたが、参加した学生達は真剣に試合に臨みながらも競技を通じて交流を深めている様子でした。成績は本学が僅差で敗れ、通算27勝44敗となりました。

対北海学園大学戦(6/17~19 於:仙台)は、初日に応援団と両校のチアリーダー、吹奏楽部による合同ステージが開催され、2・3日目は、硬式野球や剣道など14種目の試合が行われました。成績は多くの種目で接戦を制した本学が66回目の勝利を手にしました。

ほとんどの学生が初めての参加となった今回の定期戦でしたが、スポーツ技術の向上のみならず、両校学生の親交を深めること、また、これまでの長い歴史で積み重ねてきた友情や絆を繋いでいくことの大切さを再確認しました。

2. 「就労支援ガイダンス『自己理解』セミナー」を開催

学生総合保健支援課では初の試みとして、9/29、「就労支援ガイダンス『自己理解』セミナー」をオンライン開催いたしました。

就職キャリア支援課とのタイアップによるこのセミナーは、「日々の生活に違和感がある」、「社会に出るのがとても心配」など、就職に不安を感じている学生を対象としています。

就職活動を前に、まず学生が自分自身を知り、必要に応じて学内の専門部署や外部機関に相談することができるよう、①「自立する」ために必要なこと(健康管理や日常生活管理)、②「自分らしさ」を考える(自己分析のメリット)、③「困ったとき」の相談窓口(各種相談先の紹介)の3つを参加学生に伝えました。

学生総合保健支援課ではこれからも学内外の専門機関と連携し、学生の就労をサポートしていく予定です。

後援会からのお知らせ

WEB閲覧サービス 保護者用

閲覧期間 成績:4~6月、10~12月
時間割:5~2月(9月除く)

詳しくはこちらのマニュアルをご覧ください
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/student/data/guardians/webmanual.pdf>

スマホでも! パソコンでも!



保護者の方限定 **PRESENT 贈 プレゼント応募方法**

■ 渡辺徹氏サイン色紙プレゼント

1. まだの方は、後援会LINEを友だち登録 

2. 応募はこちらから  応募締切 2022年11月30日(水)

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

3名様 